

愛知県美浜町防災訓練において「臨時災害放送局」の開設訓練を実施

東海総合通信局(局長:吉武 久)は、令和元年11月4日(月)、美浜町野間小学校で開催された「美浜町・野間学区合同防災訓練」に参加し、美浜町、一般社団法人日本コミュニティ放送協会東海地区協議会、知多半島ケーブルネットワーク株式会社と連携して、東海4県で初めて臨時災害放送局の開設・放送訓練を実施しました。

開設訓練では、美浜町職員が美浜町災害対策本部から訓練会場の当局職員へ電話。臨時災害放送局設備の借受と免許を申請し、当局職員が放送設備の貸与の承認と臨機の措置により免許するまでの手続を確認しました。

放送訓練では、当局が搬入した放送設備を実際に使用。美浜町が、(一社)日本コミュニティ放送協会東海地区協議会と地元の知多半島ケーブルネットワーク(株)のパーソナリティやリポーターの協力を得て、町内に開設した避難所の情報、避難時の注意事項や避難生活の留意点等の情報、会場での訓練内容の紹介や訓練模様を町長、町民等へのインタビューを交えて放送しました。

訓練会場には、モニター用ラジオを設置して、参加住民の方へ実際の放送を聴いていただき、57名の方に臨時災害放送局に関する感想やご意見などを伺いました。約95%の方が「災害時に臨時災害放送局によるきめ細かな放送があると良い」と回答、「災害時に町から生活に密着した情報があるとありがたい」「こういった放送局(臨時災害放送局)があるといい」との声も寄せられました。

今後は、各県を訪問し、災害時における住民への情報伝達手段としてのラジオの有効性を多くの自治体の首長にご理解いただくため、来年度の県防災訓練における臨時災害放送局開設訓練の実施提案など具体的に進めていくこととしています。

〈アンケート結果〉

- ・災害に備えてラジオを準備している: 100%
- ・災害時、自治体が開設する「臨時災害放送局」を知っている: 約5%
- ・災害時に臨時災害放送局によるきめ細かな放送があると良い: 約95%

〈参加者の声〉

- ・「自宅や車のラジオで聴けるのはいい。」
- ・「災害時に町から生活に密着した情報があるとありがたい。」
- ・「こういった放送局(臨時局)があるといい。」

お問い合わせ先: 防災対策推進室 052-715-5008



参加者の方への説明・アンケート模様



町長へのインタビューの様子(特設スタジオ)



当局が搬入した放送設備